

第11回北信越国民体育大会バドミントン競技で優勝した富山県成年女子チーム  
左から、大谷鶴美さん・今川真理子さん・亀谷志都さん（高岡市体育館にて）

富山県

1990  
No.261  
10



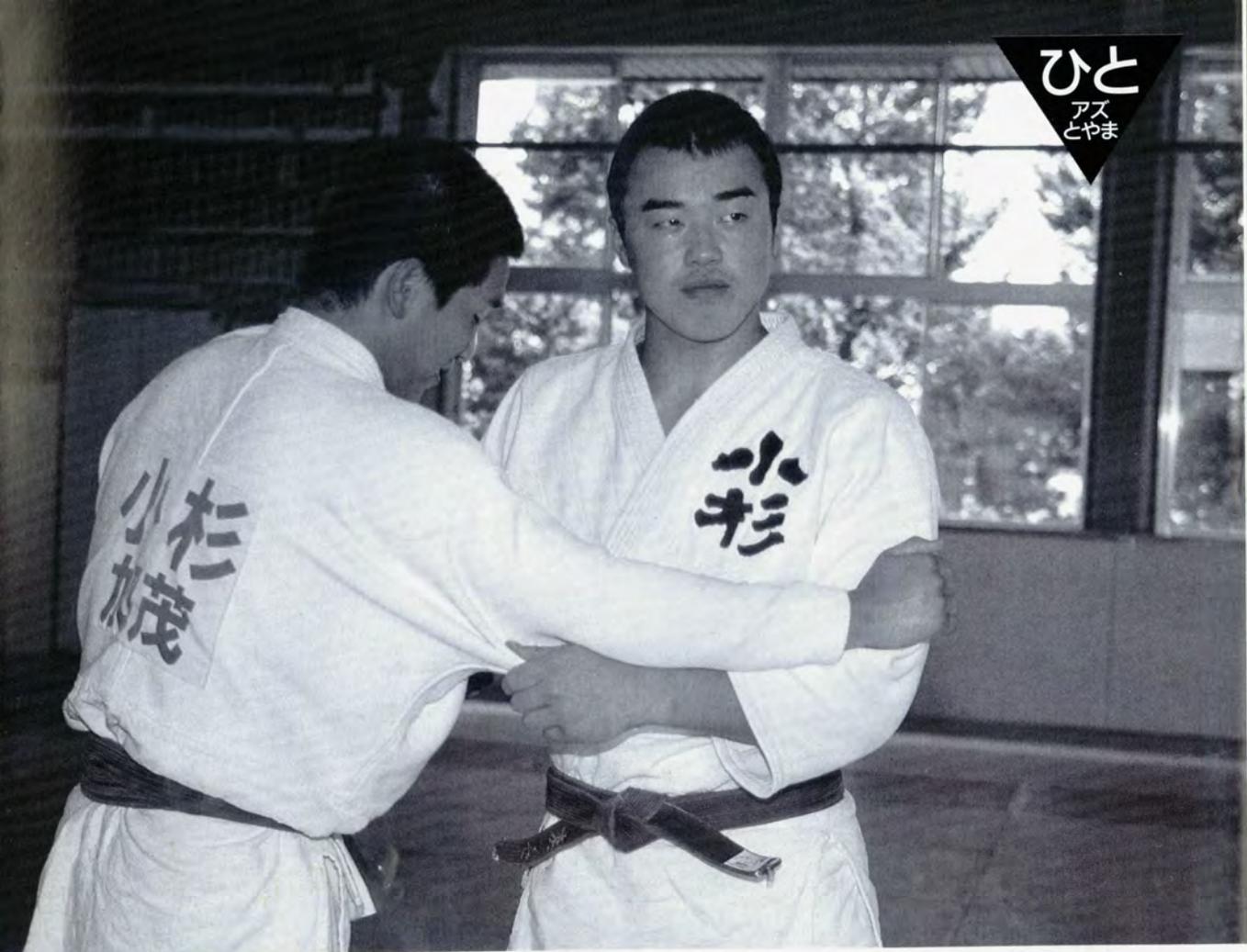
TOYAMA PREFECTURAL REPORT

特集/富山県国際立県プラン策定

「心のかよう  
国際交流を  
めざして」

県広報

と  
か  
よ  
う



# 富山の三四郎 ソウルで一本

高校柔道韓国派遣日本代表 湊谷知幹 (小杉高3年) 君

「韓国の選手は良い成績を残すことによって国から経済的保障が約束されるので、もう必死です。技術的には日本より劣っていますが、生活と将来がかかっているので死にもぐるいで立ち向かってきます。はっきりいってパワーは全体的に韓国選手の方が勝っていますね。自分自身の一本勝ちを含め、日本は四勝一敗二引分と勝つには勝ちましたが、韓国選手への目を見張るものがありました。第三回全国高校柔道韓国派遣日本代表選手団のメンバーに、富山県選手として初めて選ばれた小杉高校三年の湊谷知幹君。帰国数日後に韓国ジュニア選手の感想を語ってもらいました。

湊谷君は柔道家の祖父、そして国体出場の経験があり、小矢部市の津沢柔道スポーツ少年団の監督を務める父、さらには、世界選手権に出場したことがあり、現在、金沢工業大学の柔道部の監督である叔父の影響を受け、小さいころから柔道に慣れ親しんできました。天性の素質と厳しい練習の結果メキメキと頭角を現わし、中学三年の果体優勝、高校一年に県内では最年少の二段昇進、そして韓国派遣を決定づけた今年のインターハイ準優勝と、順調に伸びてきています。インターハイでは準優勝まですべて一本勝ちし、決勝も勝利はほぼ間違いないと思われていましたが、過度の緊張で我を見失ってしまい、屈辱の判定負け。「この経験を今後に活かしたい」と精神面の鍛錬にも余念がありません。

現在、秋の国体と二十歳以下が対象の全日本新人団体重量別大会に向けて猛練習中。「今年のアジア大会に出場している、小杉高校OB東海大学の院生高波善行さんを目標に、世界に通用する選手になりたいですね。そして技を磨き力をつけて、バルセロナの次を、真剣に狙いたい。」でっかい夢だけれども、決して無理とは思えない位、無限の可能性を秘めている湊谷君。今後の活躍が本当に楽しみです。

東京生まれ、東京育ちの私にとって富山の縁といえば、幼年時代に祖母の家に一年に一度は必ず訪ねて来た薬売りのおじさんがすべてであった。三つ重ねか四つ重ねであったかは忘れてしまったが、柵の中の様々に包装した紙袋の間から、まるで魔法のように紙風船を取り出して「はい、ぼうや」と言って渡してくれるのが楽しみだった。大学を卒業し、新聞記者になってからも、そのころの情景が妙に懐かしく、思い出すことも度々あった。

だが、その後の私の人生で富山とのかかわり合いは一切なかった。国体の取材や講演などで「お隣り」の新潟や石川にやって来たことはあったが、正直言って、富山には全く「関心」を持たなかった。学生時代、山やスキー好きの友人にも恵まれたが、彼らは山形や群馬の出身者で、富山に近いところで「採れた」友人といってもせいぜい長野県人だった。剣岳や薬師岳のことを聞いたことがあったにしても、アプローチが富山県からだとはついぞ考えだにできなかった。

その私が初めて越中の地に足を踏み入れたのは昨年八月のこと。新設予定の富山国際大学が一体どのようなところにあるのか、この目で確かめておく必要があったからである。大山町の小高い台地で進められていた建設工事はまだまだ緒に着いたばかりで、「果たしてこんな山奥に大学ができるのだろうか」と、いぶかしがる気持ちの方が先行した。ただ、立山国際ホテルに宿をとり、ケーブルバスを乗り継いで室堂まで足を延ばした際の感激



富山国際大学教授 岡倉 徹志

は筆舌に尽くしがたかった。ぐぐっと迫る自然の景観はスイス・アルプスを訪れた際の感動をはるかに上回った。間近に仰ぎ見た雄山、そこに残る雪渓——「これこそ自然ね」と、同道した妻も盛んに感嘆の声を上げた。

そして初春。私と妻は再び富山駅頭に降り立った。青空をバックにくっきりと雪を頂いて聳える立山連峰の雄姿。長年の都会暮らしでは決して味わえなかった自然への没入感、一体感を蘇らせてくれるのに十分であった。

四月、初々しい大学のキャンパスには、これまたピカピカの新入生が闊歩し始めた。二十八年間続けて来た「切ったはった」の「やぐざ商売」に終止符を打ち、私も「新米教師」生活のスタートを切った。以来、早寝早起きをモットーに、朝五時から一時間の「早歩き」を欠かさずに行き、立山連峰を遠望しながら大山町の田の畦道や山中を往復している。単身赴任の悲しさで夏休みには二カ月ほど東京帰任と相成った。折からのイラク・ペルシャ湾危機に巻き込まれ、テレビドラマオダ雑誌だと、俗界の雑事に振り回されてしまったが、心はいつも富山の自然と一体であったと、だれ憚ることなく言うことができる。「いきいき富山」がワッペンの上の文字だけではなく、今の私にはまさに実感として迫っており、生活の一部にさえなっていると申し上げておこう。

# Design Wave '90 in Toy

クローズアップ

2



## 地域活性化のグランドデザインを描く

### デザインウェーブ'90イン富山



◀フレンクラー氏による基調講演



▲栄久庵憲司氏らによるパネルディスカッション

デザインを通して地域振興のあり方を探る「デザインウェーブ'90イン富山」が八月十七日(二十五日、名鉄トヤマホテルを主会場に開かれました。

メインイベントとして開かれた四県知事によるデザインサミットでは、中沖富山県知事、横路北海道知事とビデオ参加の長州神奈川県知事、細川熊本県知事が「地方は個性を発揮する競争と交流の時代」と語り、それぞれ「東京模倣でない地域のデザインが不可欠」と強調、会場を埋めた聴衆からは、大きな拍手が起きました。

この他「富山の住まい、街並み、遊び空間」をメインテーマとするサマワークショップ、フリードリッヒ・フレンクラー氏(ワログクデザインジャパン(株)社長)による基調講演、さらに分科会として、栄久庵憲司氏(GKインダストリアルデザイン研究所長)、黒木靖夫氏(ソニー企業社長)らによる「環境とデザイン」、「イノベーションからイマジネーションへ」と題するパネルディスカッションが行われました。

## 富山のくすり300年記念式典



## 先人の偉業を受け継いで

### 「富山のくすり300年記念式典」



「富山のくすり300年展」は、このあと九月十三日の九州福岡会場を皮切りに、十一月末まで全国の六都市で開催されます。

富山の売薬の歴史は、今をさかのぼること元禄三(二六九〇)年に、江戸城中で腹痛に襲われた三春(福島県)の藩主を、当時の富山藩主前田正甫公が反魂丹で救ったという話に由来します。それからちょうど三〇〇年目にあたる今年、県や県内の薬業団体が中心となって「富山のくすり三〇〇年記念行事」が実施されています。

八月十七日に県民会館大ホールで行われた記念式典には、富山県薬業連合会の曾我正雄会長をはじめ、県内外の薬業関係者約千三百人が出席。冒頭あいさつに立った中沖知事は、「自分の健康は自分で守るというプライマリー・ケアを進めていく上で、薬業の果たす役割は大きい。今後後継者の育成など問題も多いが、心を一つにして努力して頂きたい。」と祝辞を述べました。

また県民会館地下展示場で行われた「富山のくすり300年展」には、「懸場帳」や「行李」さらには、おまけとして持ち歩いた「紙風船」や「売薬版画」など、売薬さんにゆかりのある品々が展示され、会場を訪れた人々の間からは、子供の頃を懐かしむ声が聞かれました。

この他「300年展」会場には、県内製薬メーカーの薬品や最新の医薬業技術を紹介するビデオ上映のコーナーや、薬品の即売コーナーなども設けられました。



# 21世紀へのシナリオ——しあわせ富山をめざして

## 新富山県民総合計画有識者懇談会

◆出席者

河合 良一 (株)小松製作所会長  
 小島 慶三 (財)日本立地センター理事長  
 佐伯 彰一 東京大学名誉教授  
 竹村 健一 評論家  
 永井 道雄 (財)国際文化会館理事長

二十世紀を展望した富山県の新総合計画について、意見、提言をもらう有識者懇談会が九月十二日東京の赤坂プリンスホテルで開催されました。この懇談会は、世界を舞台に活躍している、わが国の文化、経済界のトップが、富山県の将来の目指すべき姿や県づくりについて、大所、高所から、知事に対して助言、提言をするものです。

有識者の方々からは、「これからは、環日本海時代であり、富山は、そのハブ(自転車の車輪の中心部)になるよう、国際空港などの整備を進めよ。」「富山のくすりで健康づくりの世界的メッカを目指せ。」「心の健康づくりにも取り組むべき。」「社会に門戸を開いた大学をつくるなど先進教育県づくりを。」「花と緑で塀の内も外も飾られた街づくりを進めよ。」「ロボットを導入するなど若者を引き付ける農業に取り組め。」「ポーターレス富山」を打ち出し、全県一都市社会の全国モデル県に。」といった、これからの富山県の進むべき方向や取り組むべき課題など、示唆に富んだ貴重な提言や意見が次々に出されました。



# 富山体験をもとに熱い、討論

## '90ライブとやまティーチン



▲利賀村で知事と交えて熱い討論会



▲八尾町で紙すき体験

マスコミや旅行代理店に就職を希望する都内十五大学の学生二十人と地元富山大学生四人の計二十四人が参加して、ライブとやまティーチンが行われました。今年で五回目のこの企画は、東京の大学生に富山を体験してもらい、その感想や地域振興への提言を聞くとともに、将来にわたって富山をPRしてもらおうというものです。八月二十七日から二泊三日の日程で、おわら前夜祭、和紙すき体験や近代美術館、海王丸、井波の彫刻、SCOTの国際演劇夏季大学などの見学をした後、中沖知事、宮崎利賀村長、吉崎県民カレッジ学長を交えてティーチンが行われました。

その中で、「最先端の工業と豊かな自然が共存しているのに驚いた。」「どの町でも水の音がして、自然な感じがよかった。」「富山の人が郷土を強く愛する心が素晴らしい。」「などの感想の他、「富山を愛する情熱を若者にも伝えてほしい。」「伝統技術(和紙)を取り入れた広報活動をもっと行った方がいい。」「など多くの要望・提言もありました。また、開発派・現状維持派に分かれ、解散時刻ぎりぎりまで約二時間半にわたって熱い討論が繰り広げられました。

# 心のかよう国際交流をめざして



最近、街を歩いていると、本当によく外国人を見かけます。外国人はもう珍しいという存在ではなくて、ごく身近な存在になってきました。また、昨年一年間の県のパスポート発給数は、三五、六七三件。少なくとも県民の三十五人に一人は海外へ出かけたこととなります。誰もが気軽に海外へ行けるようになるとともに、県内でも外国人登録者数が増え、企業や学校へやってくる海外からの研修生、留学生も年々増加しています。

このように、情報・通信手段や交通手段の発達に伴い、人、もの、情報の流れが地球的規模で飛躍的に拡大し、県民と外国人との接する機会が多くなってきました。しかし、一方県民一人ひとりの個人レベルでは、国際理解や外国人との交流が必ずしも十分に行われていないことも事実です。

県ではこの現状を改め、世界に開かれた地域社会を形成し、世界に貢献する富山県をめざして、本年七月に「富山県国際立県プラン」を策定しました。このプランの概要を紹介するとともに、国際交流に関係の深い四人の方の事例を挙げて、これからの国際交流について考えてみましょう。

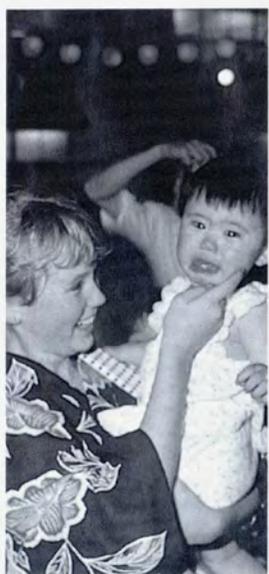
## 1、国際立県プランの特徴

プランには、「心のかよう交流」を展開するため、次のような理念が盛り込まれています。

(1) 「形式的な交流」から「実質的な交流」へ  
長期的に双方にメリットのある実質的な交流をめざします。

(2) 「トップレベルの交流」から「住民レベルの交流」へ  
各界トップレベルの一部の人だけの交流ではなく、住民一人ひとりが主体的に参加する国際交流をめざします。

(3) 「よそ行きの交流」から「ふだん着の交流」へ  
住民一人ひとりが郷土理解を持って、無理をせず、肩ひじをはらず、同じ人間、同じ住民として外国人とつきあうふだん着の交流をめざします。



## 2、国際交流の推進

国際交流を具体的に推進するため、プランでは、①国際理解の増進（国際感覚豊かな人づくり）②国際交流基盤の整備（国際化に対応した郷土づくり）③国際交流・国

# 富山県国際立県プラン策定



# 富山は小森センターズーム

国際交流員 マリ・ヘザー・バジエロンさん

「小さい頃から桃太郎を読んだり折り紙をして遊んでいました。小林多喜二や夏目漱石、芥川龍之介などの日本文学が大好きです。国際交流員としてこの八月から富山県学術国際課で勤務をしているマリ・ヘザー・バジエロンさんは大の日本好き。好きな食べ物もお寿司、お好み焼き、そば、うどんと日本通です。アメリカ・オレゴン州のアストリアという人口約一万人の自然豊かな町に生まれ育ったせい、「オレゴン」を小さくすれば富山になる。」と、大変富山がお気に入りだそうです。

「私の仕事は草の根レベルの国際交流を進めていくことです。そのためには人と人との関係を大切にし、お互いの考え方をよく理解し合うことから始めていかなければなりません。国際交流員としての仕事は、英会話教室をはじめ、イベントの企画実行、市町村の国際事業の相談役、日本語がほとんどできない英語指導助手の連絡調整役など種々、広範囲に渡り、多忙な毎日をごしています。

「日本は、経済的工業的発展を遂げてきたが、伝統文化や自然を守っていくという気持ちを大切にしてもらいた

い。マリさんはオレゴン大学で四年間日本語を勉強、三年前には埼玉県で三ヶ月間ホームステイをしたりと以前から日本に対する関心が高く、特に、日本古来の伝統的文化には強い興味を覚えるとのこと。越中おわら盆の盆を見に行った時も、優雅で風情のあるおわら踊りに、おもしろい目を奪われたそうです。

「富山県の人には、国際交流に対しては大変興味を持っていますが、ちょっと恥ずかしがり屋さんが多いですね。もつとどんどん話しかけて下さい。お互いに持っている情報を交換し合いたいと思います。日本人、アメリカ人という固定観念を捨てて、一人の個性豊かな人間として話し合いたいです。」国際交流員としての一年の期間が過ぎた後も三、四年は日本に滞在して、その後、アメリカの大学院で日本語と国際交流について勉強したいと思っているマリさん。今後の活躍が富山とオレゴンの友好提携に一層の弾みをつけそうです。

国際協力の推進（国際社会に開かれ貢献する県づくり）の三つを柱に、県・市町村・民間等が協力して「世界に開かれ貢献する富山県」づくりをめざすこととしています。

## (1) 国際理解の増進

〈国際感覚豊かな人づくり〉

国際交流を進めるには、県民一人ひとりの意識の国際化が必要です。

このため、国際理解教育の充実や外国人との交流機会の拡充等により、県民が外国人や異文化等とふれあう機会を増やし、国際的感覚を養うとともに国際的な理解を深め、心のかようふだん着の交流ができるようにします。

国際理解教育としては、学校における国際コース等の設置や語学教育の充実、また、教員、高校生等の海外派遣など、学校教育の充実を図るほか、県民ニーズに応じた大学の公開講座、外国大学と提携したサマースクールの開催など、生涯学習を推進します。また、国際感覚豊かな人材の育成を図るため、青年・婦人海外派遣事業を実施するほか、友好県省・州との職員の相互派遣を行います。更に、モデル・ホームステイ・マニュアルの作成やホストファミリー登録制度により、県民と外国人が親しむ機会の拡充を図ります。その他、「とやま名誉大使」制度の充実による海外広報をはじめ、各種広報活動を積極的に展開します。



## (2) 国際交流基盤の整備

〈国際化に対応した郷土づくり〉

「国際立県」をめざすためには、国際化に対応した、外国人にも活動しやすい郷土づくりが必要です。県では、外国人相談窓口を整備拡充し、公共施設のローマ字や英語併記をふやしていきます。また、国際交流推進拠点を整備するため、助とやま国際センターの機能の強化・拡充を図るとともに、宿泊施設をも兼ね備えた国際交流会館（仮称）の設置も検討しています。

## (3) 国際交流・国際協力の推進

〈国際社会に開かれ貢献する県づくり〉

円滑な国際交流や国際協力を進めることは、本県の経済・文化活動の振興や県の活性化を図るうえでも極めて重要であるばかりでなく、国際社会における日本の責任と役割の一端を果たし、ひいては国際平和と安定に貢献します。具体的には、外国人ビジネスマン、留学生らを対象にした「富山サマースクール」の開設、日本一の青年海外協力隊（人口比）の県づくり、友好提携に基づく交流の拡大と新たな友誼提携の推進や日本語教師の海外派遣など、様々な国際交流・国際協力を推進します。



# 日本の「おとこさん」

荒町証券社長 稲垣英一さん

「東京や大阪へ行っている息子や娘が、夏休みに帰ってきたという感じで、留学生を受け入れています。ともかく構えないことです。特別に親切にしたり、見栄を張って自分を飾ったりしていたのでは、長続きしないし不自然です。ふだん着のつき合いが必要で、十八年間で二十人のホームステイを受け入れ、多くの留学生から「おとうさん」と慕われている稲垣英一さん。優しい笑顔がとても魅力的です。

稲垣さんは、ご自分の息子さんや娘さんがオーストラリアやカナダ、イギリスへ海外留学した時に、各国の家庭で温かいもてなしを受けたことから、



恩返しという気持ちで留学生の受け入れを始めたとのこと。一番最初に受け入れた留学生はオーストラリアのマーガレット・モートンという女子高校生で稲垣さんには忘れられないホームステイとなりました。「私たちが初めてだったということと彼女が礼儀は正しいけれど大変わがままであったということもあって、さんざん振り回されて、妻と二人で毎晩悩みました。そして悩んだ揚げ句、出した答えが、私の家の生活リズムは絶対変えないということでした。従って、それを壊すようなことをすれば、ダメと言って叱りました。ダメと言えぬ間柄でない」と長続きはしませんね。この一回目のホームステイは、稲垣さんにとって、この後のホームステイのよい教訓になったとのこと。

「数多くのホームステイによる外国人の受入れを通じて、世界各国の文化習慣、宗教等を、自宅に居ながらにして理解できたのは大変有意義でした。そして、私自身彼らから最も教えられたのは、人生をいかにして楽しむかということ。稲垣さんは子供たちのことをより理解したいという気持ちから、現在、家族と共に英語教室に通っ

# 国際協力にあなたのため力を

海外青年協力隊 橋本智子さん

「自分の手で何かをしてみたい、そして、自分の可能性を試してみたい」と思って海外青年協力隊に応募しました。一九八八年一月から一九九〇年一月までの二年間、アフリカの最西端にあるセネガルという国へ臨床検査技師として派遣された富山市五福の橋本智子さん。セネガルは一九六〇年にフランスから独立したばかりの開発途上国で、首都はあの「パリダカ」で有名なダカール。橋本さんが臨床検査技師として働いていた総合病院のあるジガンシヨールは、カールという乗合いバスでダカールから六時間以上かかります。



「ジガンシヨールは何でもそろっている便利な町ですが、ちょっとはずれると、大変な田舎です。昔からの風習のせいかトイレもなく、旅行などする時は大変困りました。でも一カ月、二カ月と住んでいるうちに、現地の人たちの様子が分かりだんだん愛着が持てるようになってきました。セネガルは八十パーセントの人がイスラム教徒ですが、イスラム教は平等を重んじます。そのため、自分が貧乏であれば人にもらうのがあたりまえだし、逆に自分が豊かであれば人に与えるのがあたりまえという考え方です。弱い者、貧しい者、身障者などにも優しく優しい国です。」

「日本はいろいろな意味で輸出大国です。外国へホームステイに行くのは得意だけれど、ホームステイで外国人を受け入れるのは消極的です。もっと積極的に受け入れてもらいたいですね。そうすればきっと、外国人に対するコンプレックスもなくなり愛着が湧いて

きて彼らを応援したくなります。ともかく自分の心を裸にして相手に接することが、心のかような国際交流の第一歩です。現在も、サリー・ファブラーさんというオーストラリアの女子高校生を預っている稲垣さん。国際交流の輪が大きく大きく広がっています。

橋本さん自身、セネガルでの人との交流の中で、日本では味わったことのない、やすらぎを覚えたとのこと。「単にお金やものを与えるのではなく、その自立のために援助し手をお貸すことこそ、真の国際協力につながると思います。また、日本で困っている外国人を見たら、見て見ぬふりをせずに

手を差し伸べてあげてください。見知らぬ地で人から親切にされるのは、いつまでも深く心に残ります。セネガルの写真帳には、現地の人の中にすっかり溶け込んでいる橋本さんがたくさん写っていました。その明るくて優しい笑顔がとても素敵でした。

# ブラジルは「未来の国」

「ブラジルは『未来の国』です。大きな可能性を秘めた国です。鉱物資源は豊富で、国土も広い。そして、何よりも人間が大らかでゆったりしています。また、リオのカニバルのように、計

り知れない爆発力があります。昭和六十二年の四月から平成元年の三月までサンパウロ州のミランドポリス市第三アリアンサ村(別称富山村)へ五代目の日本語教師として派遣された長原史明さん。

第三アリアンサ村は、サンパウロから車でさらに八時間程行ったところにある、人口約二百人の小さな農村です。住民はほとんどが日系人で、外観上は日本人と変わりません。長原さんはこの村の小中高校生に、日本語や日本の文化を教えていました。

「日本の中にはあたりまえのこととが、日本の外から見たらどうなのか興味があり、一度、海外から日本の様子を見てみたいと思って応募しました。実際のところ、日本は確かに便利で物も豊富にあり、さすがに先進国だ



呉羽小学校教諭

長原史明さん

なーと痛感しました。ブラジルでも、少し日本人の勤勉さと努力を見習ってもらいたいとも思いました。しかし、逆に、ブラジル人はゆったりのんびりしていて、常に心にゆとりを持って生活をしています。そして自己主張が強く一人ひとりがみんな個性的でいきいきしています。日本は組織があって個人がありますが、ブラジルではまず個人があつて、それが集合して組織になります。どちらが良い悪いということではないと思いますが、より人間的に生きることを目指してしている今日、日本もブラジルから学ぶべき点は多いと思います。ブラジルでの心温まる思い出を、懐かしそうに語る長原さん。ブラジルサンパウロ州との今後の友好に、一役も二役も果たしてもらえうです。

## 青年海外協力隊員募集

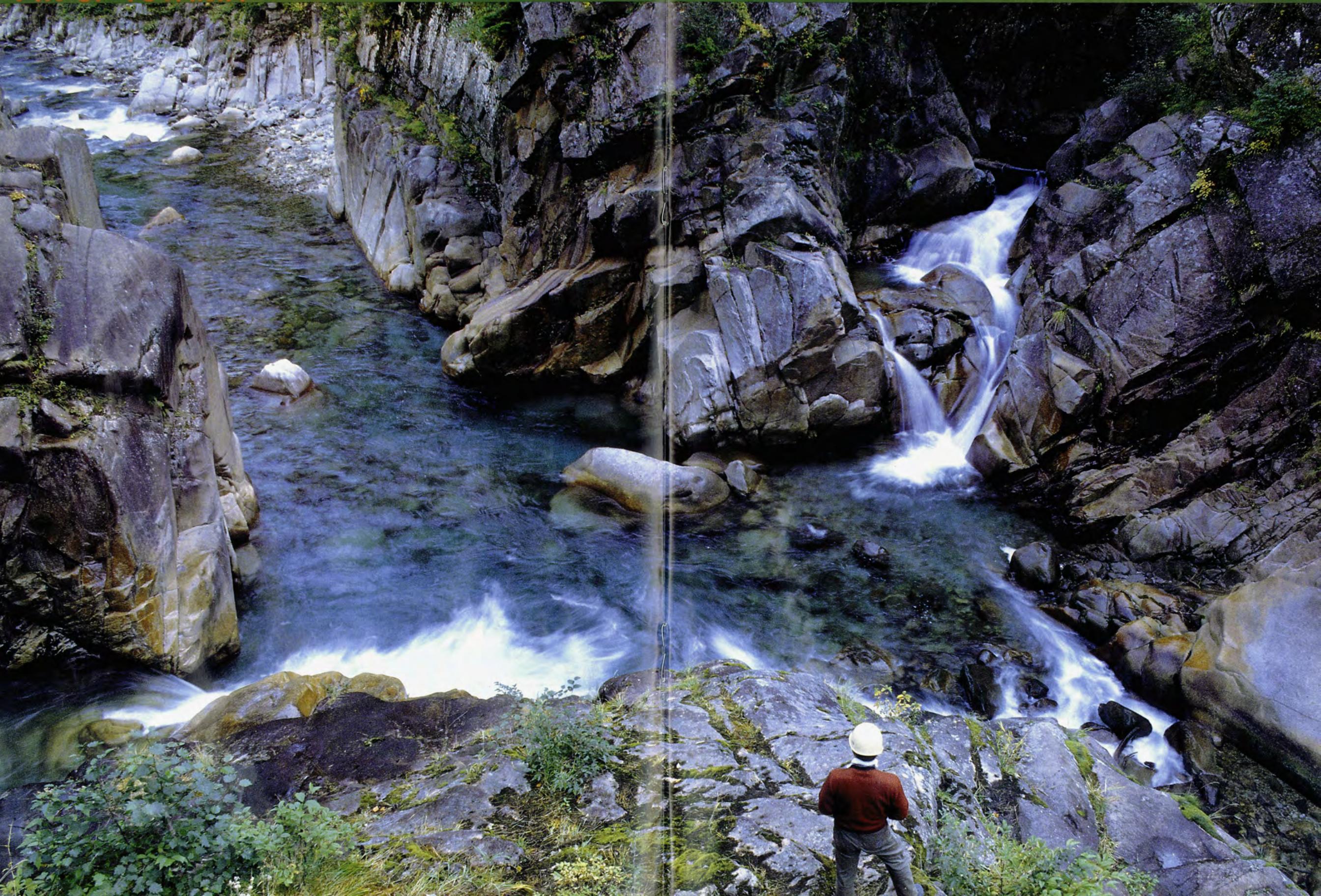
～開発途上国の国づくりに若い力を～

国際協力事業団では、開発途上国の新しい国づくりに参加する青年海外協力隊員を募集しています。

応募資格は、20歳から39歳までの青年男女です。派遣期間は2年間。農林水産、土木建築、保健衛生、教育文化などの約150種の職種があり、アジア、アフリカ、中近東、中南米、南太平洋の開発途上国に派遣されます。

募集説明会 10月24日(水) 高岡文化ホール第四会議室  
10月25日(木) 富山県民会館613号室  
11月21日(水) 富山県民会館704号室  
時間はいずれも午後6時～9時

※詳しくは、富山県旅券センターまで (☎0764・45・4581)





# 「おいしい、富山米と特産品」

レポーター：中尾 詠美(ミスひみシーサイド)

富山県は、北アルプス立山連峰などの山岳地帯と、ここに源を発する急流河川、緑につつまれた扇状地平野、暖流と寒流が交わる富山湾など変化に富んだ地勢で、古くから水田稲作農業を基本とし、全国有数の良質米生産県として有名です。富山の農家の人たちがこのような「おいしいお米」をつくり続けるには、いろいろな苦労が多いと思いますが、県ではこのような農家の方々にどのような手助けをしているのでしょうか。これを調べた私の県庁体験を報告します。

## 安心して農業を営むために 四つの係でバックアップ

「農業経済課」には、金融係、食品流通係、食糧係、農業共済係の四つの係があります。金融係では、より生産性の高い地域農業を実現するために、農家等が田



植え機やコンバインなどの農機具を購入するのに必要な資金を長期間低利で借入れできるように手助けしています。また、若い農業後継者が少なくない

現在、中核

農家（六十

歳未満で、

自家農業従事

日数百五十日以

上の男子がいる農家）

が借入れた資金がより低利となるように、

県独自で利子補給するなど、農業生産力の

維持増進を図る事業を実施しています。

食品流通係では、生鮮食料品等が円滑

に流通するように、県内の卸売市場を指

導するとともに、市場関係者の講習会等

を実施しながら、県内食品産業の振興と

地域経済の発展を図っています。

また食糧係では、国民一人あたりの米

の消費量が、昭和三十五年の百十五キロ

グラムから、現在では約四十パーセント

も減少して七十一キログラムとなった

現状をふまえて、より一層の富山米の販

路拡大を図るため、「おいしい富山米」の

PRに努めています。

昭和五十一年に学校での米飯給食がスタ

ートしたわけですが、現在の混合米から

今年十一月頃には、コシヒカリを使用す



る準備がされているということです。小さいころから「おいしい米を食べる習慣」が身につくよう期待されます。このほか市町村等との連携により米まつりや料理講習会、料理コンクールなども行われています。

農業共済係では、農家の人々が安心して生産に励めるように、風水害や病虫害による作物への被害や損失を補償、補填し、農業経営の安定を図っています。

## 各地の特産品をめぐって、新しい特産品を開発……

私が次に訪れた「食品研究所」は、昭和五

十八年十月にオープンし、さまざまな農産物を原料に新しい食品を開発したり、加工食品の品質を明らかにする実験や、研究を行っています。



▲開発された新しい特産品

今までにこの研究所で開発された食品には、山田村の特産品である柿を原料にした柿酢ドリンクや滑川市のほたるいかの沖造り、またコシヒカリを原料とした立山町のおかゆの缶詰や、細入村のラッキョウのワイン漬など数多くあります。でも現在のところ、産地でしか販売されていないので、私たちの手に入る機会がありません。私たちが残念に思いました。ラッキョウのワイン漬は加工技術の開発からできた食品だそうです。せっかくなので、特産品をその収穫時期にしか食べることができないのはとても残念なことだし、

いろいろな特産品を、四季を通じていつでもおいしく食べられる研究はとても重要な仕事だと思いました。

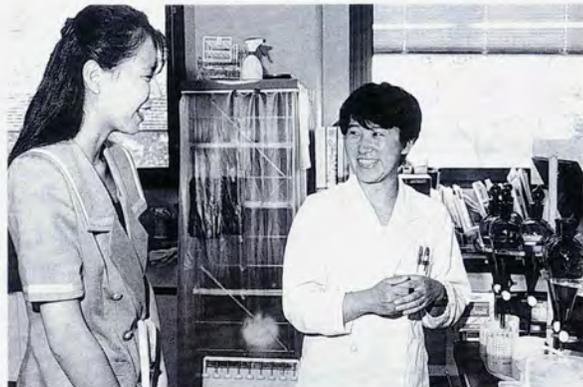
今、この食品研究所で新たに研究されている食品は梨を原料とした、ワインやブランデーだそうです。どんなものができるとかとても楽しみです。

開発された特産品が、県内はもちろん、県外でも多く出回るように早くすれば良いのに……と思いました。

この取材体験により、県では県民生活の安定を考えて、いろいろな努力されていることを知り、とても有意義な一日を過ごすことが出来ました。

富山県の農業は全国一の水田率や高いほ場整備率を背景に、米の生産が全体の七割を占めています。おいしい富山米は、大都市圏を中心にごんごん需要が高まっており、「良質米産地」としての富山県の地位はますますゆるぎないものとなってきています。

農業経済課では、富山の農家の方々がよりおいしい米をはじめとした農作物の生産に励めるように、また生鮮食料品等が円滑に県民の食卓に届くように、農業金融や流通などの各分野で、全面的なバックアップを行っています。



▲食品研究所

# 新湊市

丸顔・色黒・シミ・ソバカス——ん？新湊美人!?……いえいえ、これは新湊特産・水島柿のおいしさの条件なのである。実りの秋。ここ七美地区を歩くと、どの家の柿もおいしそうに色づいている。甘さ・柔らかさ・みずみずしさの三拍子そろった甘柿の傑作。この甘柿が、柿ジャム“柿の実もち”として更に素敵に変身して再登場。柿独自の素朴な風味でグルメ志向の人にはもちろん、お年寄りから子供にまで幅広く

人気を呼んでいる。「柿の実もち」は角まで柔らかく焼けて、少し時間がたつてもすぐに固くならないのがいいところなんです」と説明してくれたのは上田容子さん。この特産品を造っている「ひまわりグループ」のメンバーである。でもこの特産品、一朝一夕にできたわけではない。「もちだけついたらいいがな」となるが、柿を入れると粘りがなくなると、もちにならんがイヤ。どろどろのもちができた時は、泣くに泣けなかったね。メンバーの思いつた方法を全部実行して、成功までに三年かかった。今は、十月、三月の間、県内



## ふるさとの秋をたつぷり。ハツク “柿ジャム”“柿の実もち”

特産水島柿の里 七美水島市



“ひまわりグループ”上田容子さん▲



柿ジャム



柿の実もち

## 芸術の秋 “静”のひととき

遊び盛りの日焼けた小学生が、ちよつぱり緊張した面持ちで、お客さんにお菓子を運んだり、御手前をしたり……。新湊市中央文化会館の茶室では、週一回「少年茶道教室」が開かれている。

モダンな外装の文化会館の中に入ると、天井には目を見張るようなステンドグラス。広々とした大小の多目的ホール、図書館、研究室等々、実に気持ちのいい施設である。そして、その一角に、とても鉄筋コンクリートの建物の中心には思えない優雅な場所がある。数寄屋造りの本格茶室“端新庵”。茶道裏千家



▲ちよつぱり緊張して…少年茶道教室

### 新湊市

人口 39,502人(8月1日現在、県人口統計調査より)  
面積 33.09km<sup>2</sup>

中国やソ連と交流のある富山新港は、アルミ・木材等の企業が立地する臨海工業港となっている。ステンドグラスの「神楽橋」が話題を呼び、海の貴婦人「海王丸」が、富山新港に係留されるなど、海岸・河川を生かした魅力あるまちづくりを進めている。



▲生地笑子先生



▲茶室“端新庵”

対象は小学四〜六年生の男女。四月から三月までの一年コース。「みんなやりたくて習いに来るから積極的に



▲海老江地区婦人消防隊長川本みづいさん

## 二に練習、二に啓蒙

防風林の向こうに真っ青な海の広がる海老江地区。この自然に恵まれた美しい街を守ろうと頑張っているのが「海老江地区婦人消防隊」。彼女達は、十月二十四日に横浜市で開かれる全国婦人消防操法大会に県代表として出場するのである。そして今は、猛特訓の真最中。軽可搬ポンプ操法競技は、三本のホースをつないで六十メートル先の標的を落とすまでのタイムと正確さを競う。

練習は、夜七時半頃から海老江運動場で始まる。集合・整列・放水・解散……スムーズに流れるのだが、注文は厳しく、「手の位置、顔の向き」と、びしびし注意が飛ぶ。「全員が一つの心

覚えるのも早い」と嬉しそう。静かなムードの中で、きらきら輝くみんなの瞳。ひとときわおしいお抹茶でした。



だから、毎年一月十五日に行う「放水」も、防火の啓蒙活動のため。同日新湊全戸に配布する市長直筆の防火標語も隊員が知恵を出し合っ

この婦人消防隊は、三年前に結成された。事の始まりは、五十九年の地元の火事である。「火を出さないように、万一の時は少しでも役に立ちたい」。そう願って立ち上がった隊員は二〇余名。

# 生活に "ゆとり"を

11月4日を含む1週間  
ゆとり創造ウィーク

## ■フォーラム

豊かで潤いのあ  
る生活をおくるう  
えて、充実した余  
暇を持つことの太  
切さが認識されて  
きています。  
このため、十一月四日を含む一週間  
を「ゆとり創造ウィーク」として、次  
のようなフォーラムや県民参加型のイ  
ベントを実施します。



11月1日午後1時30分 高志会館(富山市)  
テーマ「新しいライフスタイルを探る」  
11月5日午後6時 マリエ内オルビス(富山市)  
テーマ「街はワンダーランド」  
11月6日午後6時 高岡ニューオータニホテル  
(高岡市) テーマ「遊び・ゆとりを考える」  
11月7日午後1時30分 富山県民会館(富山市)  
テーマ「どうするこれからの余暇生活」

## ■県民参加型イベント

10月13日午前10時 滑川市市民会館  
「ゆとり創造・落書き大賞」  
11月3日午前10時 海王丸パーク(新湊市)  
「ビックアート 海王丸」  
11月4日午前10時 八尾曳山展示館(八尾町)  
「風情の町・八尾ウォーキング」など

▼問い合わせ先 ゆとり創造ウィーク実行委員

会 北日本新聞社開発部内

☎0764・45・3327

# 第3回健康と長寿の祭典

～ねたきり・痴呆ゼロをめざして～

期間 10月31日(水)・11月1日(木)  
場所 富山県民会館(ホール・ロビー・特  
別会議室・地下展示場ほか)

内容 ◎基調講演(筑波大学教授・小町喜  
男氏) ◎シンポジウム(「ねたきりゼ  
ロをめざして」、「ぼけにどう取り組  
むか」) ◎記念講演(女優・小林千登  
勢氏)、老人若返り芸能大会、健康料  
理実習、健康相談等



主催 「いきいきとやま・健康と長寿の祭  
典」実行委員会

問い合わせ先 ☎0764・31・4111  
県高齢社会対策室(内線468)、県公衆衛  
生課(内線446)

## 10月は「腎移植推進月間」

腎不全のために人工透析を  
受けている人は、県内で約九  
百人にものぼりますが、人工  
透析には、毎週二〜三回、一  
回当たり四〜五時間も要し、腎  
不全患者にとって、社会生活  
を営むうえでの大きな制約と  
なっております。

この腎不全を治すためには  
現在、腎移植を行うほかはあ  
りません。

腎移植には、患者の近親者  
から二つある腎臓のうち一つ  
を移植する生体腎移植と、死  
亡した人から腎臓を移植する  
死体腎移植がありますが、多  
くの患者を救うためには、死  
体腎移植を推進しなければな  
りません。

本県では昨年八月に(財)富山  
県腎臓バンクが設立され、腎  
移植体制が一步前進しました。  
今後とも増え続ける腎不全  
患者のため、死後、腎臓を提  
供してもよいとお考えになっ  
た時には、ぜひ御協力をお願  
いします。

◎問い合わせ先

腎臓バンク

☎0764・36・6130

県庁医務課

☎0764・31・4111(442)

## ねたきり・ 痴呆防止に 関する 意見募集

高齢者のねたきりや痴呆を予防し  
減少させるための意見を募集します。  
表題は自由です。

●応募規定 B四判・四百字詰原稿  
用紙五枚以内・縦書きに限り  
原稿とは別に次の事項を記載した  
用紙を必ず添付してください。

- ①表題 ②氏名 ③年齢 ④性別
- ⑤住所 ⑥職業 ⑦勤務先(学生  
は学校名・学年) ⑧連絡先電話番号

●応募・問い合わせ先  
〒930富山市新総輪曲一の七  
県庁高齢社会対策室

☎0764・31・4111(内線468)

●締切 平成2年10月31日(水)

●当日消印有効

●発表 入選者は、12月上旬の新聞  
紙上等で発表します。

●表彰

最優秀作(一編)賞状及び五万円  
優秀作(二編)賞状及び二万円  
佳作(若干編)賞状及び記念品

## 臨時脳死及び臓器移植調査会の公聴会のおしらせ

臨時脳死及び臓器移植調査  
会では、中部地区公聴会を十  
一月二十一日(水)午後二時か  
ら五時まで愛知県勤労会館、  
(名古屋市中区)で開催します。

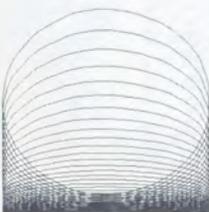
◇意見希望者は、意見の要旨  
(八百字以内)をお送りくださ  
い。七名程度の方に発表をお  
願いします。

◇傍聴希望者は、往復はがき  
でご応募ください。二百名程  
度の方を抽選で選り、結果を  
返信用はがきでご通知します。

◇いずれも、住所、氏名、年  
齢、職業を明記し、左記宛先  
にお送りください。

◇締切(必着) 十月十九日  
◇宛先 〒100東京都千代  
田区霞ヶ関1-2-1  
厚生省臨時脳死及び  
臓器移植調査会事務  
局

◇問い合わせ先 県庁医務課  
☎0764・31・4111  
(内線442)



## 「薬と健康の週間」

10月17日~23日



薬を有効に、そして安全に使用  
するために説明書をよく読む、  
用法・用量を正しく守る、むやみ  
に他の薬と併用しないことなどが  
大切です。

また、乳幼児の誤飲事故も発生  
しており、薬は子供の手の届かな  
い所に保管する注意が必要です。  
なお、各保健所において「薬の  
消費者教室」を行っておりますので、  
参加ご希望の方は最寄りの保健所  
までお問い合わせ下さい。

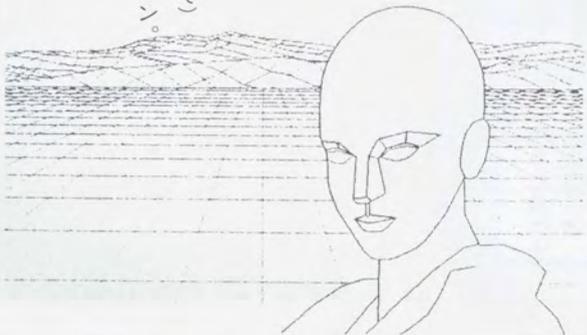
# 県民カレッジ講座

| 講座       | テーマ                       | 講師                          | 日               | 時     | 回数   |
|----------|---------------------------|-----------------------------|-----------------|-------|------|
| 人間探究講座   | 生活の医学                     | 富山女子短期大学教授<br>桑守 豊美先生他      | 10/5金           | 10:00 | 10   |
|          | 現代を考える                    | 県民カレッジ学長<br>吉崎 四郎先生他        | 10/5金           | 14:00 | 10   |
|          | 世界の動き                     | 県民カレッジ客員教授<br>小浜 喜一先生他      | 10/8月           | 14:00 | 10   |
| リーダー養成講座 | 生涯学習指導者実技講座①<br>ゲームシンクダンス | 日本レクリエーション協会特別講師<br>高田庄平先生他 | 11/19月          | 10:00 | 5    |
|          | 創造技法セミナー                  | 創造開発研究所所長<br>高橋 誠先生         | 10/23火<br>9:30  | 16:00 | 2泊3日 |
|          | とやまの自然再発見                 | 日本鳥類保護連盟専門委員<br>松岸得之助先生他    | 10/3水           | 18:00 | 10   |
|          | とやまの民俗民話                  | 富山県民俗の会会長<br>漆間元三先生他        | 10/6土           | 14:00 | 10   |
| ビデオ講座    | 食物総論                      | 富山大学教授<br>中川 眸先生他           | 10/13土          | 14:00 | 9    |
|          | 万葉の里を訪ねて                  | 高岡市万葉歴史館長<br>大久岡 喜一郎先生他     | 11/13木<br>13:30 | 10:30 | 1泊2日 |

◎問い合わせ先・受講申込み先 富山県生涯学習カレッジ  
〒930 富山市舟橋北町7の1(県教育文化会館内)  
TEL 0764・41・8635

## 「90頭脳産業フォーラムinとやま」の開催

- 日時・場所  
日時：平成2年11月7～8日(2日間)  
場所：名鉄トヤマホテル
- 主な行事内容
- 頭脳産業フォーラム(11月7日午後一時半)
  - ①基調講演
  - ②パネルディスカッション
  - ③交流バーテイ
- 情報化システム展(11月7～8日  
両日とも午前十時から午後五時まで)  
最新情報関連機器等の展示、デモンストレーション。  
問い合わせ先 県庁商工振興課  
☎0764・31・4111(内線505)



## パソコングラフィック教室の開催

パソコンのグラフィックソフトを使って自由な絵を描いてみませんか。  
日時 10月23日(火)～25日(木)  
9時～12時  
場所 小杉町黒河(県立大学構内)  
富山県情報教育センター  
問い合わせ先 富山県情報教育センター  
☎0766・56・7161

## 秋の薬草に親しむ会

日時 10月26日(金)午前9時30分から  
午後3時30分まで  
場所 富山県薬用植物指導センター  
内容 午前 薬草の使い方  
ハーブの育て方  
午後 薬草標本園の案内  
薬用酒の作り方  
定員 六十名(定員になり次第、締切りです)  
参加費 無料  
携帯品 筆記用具、昼食  
問い合わせ・申し込み先 県薬用植物指導センター  
☎0764・72・0801



## 行政相談週間



期間10月14日(日)～20日(土)  
問い合わせ先 富山行政監察事務所  
☎0764・32・6337

富山行政監察事務所では、各市町村に置かれている行政相談委員と一体となって、行政に関する苦情や意見・要望等の申し出を受け付け、その解決や実現の促進を図っています。  
「行政相談週間」の期間中には、一日合同行政相談所(富山市)のほか県内各地で行政相談所が開設されることになっていきます。年金、保険、税金、施設入所等に関する相談など、お気軽にご利用下さい。

## 軽油引取税

について



◇軽油引取税とは  
この税は、主にバスやトラックなどのディーゼルエンジンの車の燃料として使用されている軽油の引き取りに対して、千リットル当たり二万四千三百円の割合で課税される地方税で県内の道路や橋の建設、整備の費用にあてられます。  
◇税が免除になる場合  
道路の使用には直接関係のない農業、林業、船舶、軌道等の機械の燃料として軽油を使用する場合、税は免除されます。  
免除となる軽油を使用する場合は、あらかじめ県税事務所、「免税軽油使用者証」の交付を受けてください。そして軽油を購入する際に、県税事務所「免税軽油使用者証」を提示して必要な数量の「免税証」の交付を受けてください。この「免税証」をガソリンスタンドに渡しますと税がかからない価格で軽油を購入することができます。なお、詳しいことについては、最寄りの県税事務所へご相談ください。

## 富山県公害防止条例等の改正について

このたび、水質汚濁防止法の改正に合わせて本県の公害防止条例についても改正を行い、平成二年十月一日から施行することになりました。  
主な改正点は次のとおりです。  
(1)トリクロロエチレン及びテトラクロロエチレンを新たな有害物質として追加し、それらの排水基準を設定する。  
(2)有害物質を含む汚水等の地下浸透の基準を設ける。(実質的禁止)  
(3)事故が発生し、住民の健康等に被害を生ずる恐れがあるときは、直ちに応急の措置を講ずるとともに、知事への届出を義務付ける。  
事業者の方は、この定めを遵守され、地下水汚染等が生じないように十分留意願います。  
詳細については、県庁公害対策課又は最寄りの市町村公害担当課にお問い合わせ下さい。

# 県政の動き

平成2年8月11日～9月10日

8月13日 NHK「凜凜と」収録終了パーティー



8月15日 第28回富山県戦没者追悼式  
 8月17日 富山のくすり300年記念式典  
 8月18日 立山旧登山道「八郎坂」開通記念イベント  
 8月20日 第12回少年の主張富山県大会  
 8月22日 大学等求人企業説明会



8月24日 デザインウェブ'90イン富山(～25日)  
 第11回北信越国民体育大会開会式(～26日)  
 8月26日 子どもと一日お母さんのつどい  
 8月27日 '90ライブとやまティーチン(～29日)  
 8月28日 ソビエト知事団知事表敬訪問  
 8月30日 第1回土地問題懇話会  
 食肉検査所起工式  
 8月31日 青少年保護育成審議会  
 9月1日 魅力ある地域づくり全国大会  
 第8回北方領土返還要求富山県大会  
 永井一正展開会式



9月4日 富山国際ボランティアセミナー  
 9月5日 第1回博覧会推進市町村長連絡会議  
 融合化ふれあいフェスタ in 富山 オープニング(～6日)  
 9月6日 総合防災訓練



9月7日 遼寧省友好代表団表敬

1、融資限度額 新築 三百二十万円  
 改良・中古 二百万円  
 但、公庫資金の1/2以内

2、償還期間 新築 二十年以内  
 改良・中古 十年以内

3、融資金利率 一般住宅 五・八％  
 雪に強い住宅 四・八％

4、対象住宅 (一般住宅)

5、申込受付 平成三年二月二十八日  
 まで

6、問合せ先 県住宅供給公社  
 (0764・32・5131)  
 又は県庁建築住宅課  
 (0764・31・4111  
 内線665)

## 富山県住みよい家づくり資金申込案内

県内で、自ら居住するために住宅を新築、購入又は改良される方に対し、低利で資金を融資します。なお、雪に強い住宅を新築、購入、又は改良される場合は、更に低利で融資します。

老人同居住宅、心身障害者同居住宅等、  
 (雪に強い住宅)  
 耐雪住宅、融雪住宅、  
 自然落雪住宅

## 平成2年11月街頭献血日程

| 日  | 曜 | 場 所                 | 時 間         |
|----|---|---------------------|-------------|
| 4  | 日 | 小杉町「バスコ」ショッピングセンター前 | 10:00～15:30 |
|    |   | 福野町海洋センター前          | 10:00～15:30 |
| 5  | 月 | 朝日町職工会館前            | 10:00～15:30 |
| 8  | 木 | 新湊市役所前              | 10:00～15:30 |
| 10 | 土 | 高岡駅前                | 10:00～15:30 |
| 11 | 日 | 富山市中央通り             | 10:00～16:00 |
| 13 | 火 | 上市町役場前              | 10:00～12:00 |
|    |   | 地鉄上市駅前              | 13:00～15:30 |
| 16 | 金 | 小矢部市役所前             | 10:00～15:30 |
| 17 | 土 | 富山西武前               | 10:00～16:00 |
|    |   | 魚津市「サンプラザ」前         | 10:00～15:30 |
| 18 | 日 | 富山西武前               | 10:00～16:00 |
| 19 | 月 | 婦中町役場前              | 10:00～15:30 |
| 24 | 土 | 富山駅前                | 10:00～16:00 |
|    |   | 高岡駅前                | 10:00～15:30 |
| 25 | 日 | 高岡駅前                | 10:00～15:30 |

※富山県赤十字血液センター(富山市牛島本町)では、毎土曜日の午後も開所し(祝日除)、献血を受付けています。

## 県民会館美術館

平成2年度東京国立博物館巡回展

# 「桃山・江戸時代の美術」

本展は、東京国立博物館の収蔵品の中から、桃山・江戸時代に焦点を絞り、絵画・書跡・彫刻・工芸・武具の名品を展示するものです。

会場 十月二十六日(金)～十一月十四日(水)  
 (水)九時～十八時(会期中無休)

問い合わせ先 県民会館文化事業課  
 ☎0764-32-3111  
 内線251

場所 県民会館美術館



## 県民会館ホール

# 第5回県民オーケストラ合同演奏会開催



日時 十月二十八日(日)午後二時

会場 富山県民会館ホール

指揮 山形交響楽団 正指揮者 村川千秋氏  
 曲目 アルルの女第一第二組曲(ビゼー)  
 交響曲第七番イ長調(ベートーベン)

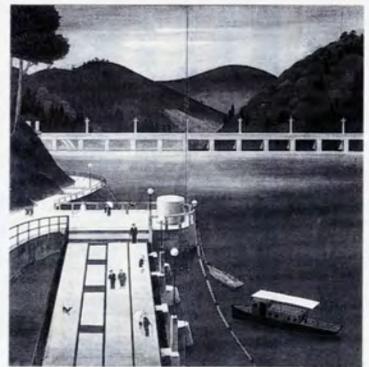
入場料 小・中・高校生 五百円 大学生・一般 千円  
 問合せ先 オーケストラ連盟事務局  
 ☎0764-93-0707  
 県教育委員会文化課  
 ☎0764-31-4111 内線287

## 県立近代美術館

企画展

# 「現代美術の流れ(富山)」

富山県立近代美術館は、昭和五十六年七月の開館以来、今年で十年目を迎えました。この間、さまざまな展覧会活動を行うと同時に、特色ある地方美術館にふさわしいコレクションの形成につとめてきました。



▲小坂勝人「堰」1937年紙本着色184×176cm

企画展「現代美術の流れ」では、富山、日本、世界の三つの視点に立って、これまでの作品収集の成果をお見せしようとするものです。

第一部、「現代美術の流れ」では、第二次世界大戦終了前後から今日までの富山県の美術に焦点をあて、富山県在住・出身者、またゆかりの深い作家の優れた作品を、収蔵作品を中心に、約百点展示します。

会期 十月十三日(土)～十一月十一日(日)

観覧料 一般 400円、(320)円、(200)円  
 小中生 200円、(120)円、(80)円  
 ( )内は団体料金

問合せ先 ☎0764-21-7111

# 第20回富山県教職員美術展

日時 十月十八日(木)午後十二時～午後五時三十分  
 十月十九日(金) 午前九時三十分～午後五時三十分  
 十月二十一日(日) 三十分  
 十月二十二日(月)午前九時三十分～午後四時

内容 絵画・書・彫刻・工芸・写真部門  
 入場は無料です  
 問い合わせ先 県教育委員会福利保健課  
 ☎0764-31-4111 内線299

場所 県民会館一階美術館・ロビー及び地階展示室

表2 エッセイ/岡倉徹志

P1 ひと/湊谷知幹

P2 クローズアップ

①富山のくすり300年記念式典

②デザインウェーブ90イン富山

③90ライブとやまティーチン

P6 ④新富山県民総合計画有識者懇談会  
特集/心のかよう国際交流をめざして

P12 PIN UP TOYAMA

撮影/赤羽仁論

P14 県庁探訪/農業経済課

P16 ふるさとみてある記/新湊市

P18 県からのお知らせ

P24 編集後記

●表紙撮影/滝川邦彦(日本写真家協会会員)

「北信越ブロックでは圧倒的に強かったバドミントン県成年女子チーム。第一人者の大谷鶴美選手がいつてました——『技よりも、最後は体力』と。ということは、すでに体力でも富山県では女性上位? 納得、そして反省させられました。」



交通事故については

富山県交通事故相談所東別館1階  
☎(0764) 31-4111内759

相談110番

家庭問題・悪質商法・寛  
せい刑など、どんな相談  
にも応じます。

☎(0764) 42-0110

シルバー110番

高齢者や家族の心配ごと、  
悩みごとに富山県高齢者  
総合相談センター  
富山市舟橋南町5-14  
社会福祉会館内  
☎(0764) 41-4110

消費生活については

消費生活センター

富山市安住町7-18

安住町第一生命ビル内

(一般相談は)

☎(0764) 32-9233

(金融相談は)

☎(0764) 33-3252

消費生活センター高岡支所

高岡市本丸町7-1

本丸会館内

☎(0766) 25-2777

県政については

県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)  
☎(0764) 31-4111(代)

31-3131(県民電話)

高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)  
☎(0766) 21-9411(代)

魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)  
☎(0765) 24-5311(代)

砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)  
☎(0763) 33-5151(代)

みなさんの相談窓口

新聞広報 NEWSAPER

●北日本、富山、読売、北陸中日、  
朝日、毎日  
毎月第2、最終土曜日  
「県からのお知らせ」

NEWSAPER

ラジオ広報 RADIO

●FMとやま  
「ふれあいホットライン」  
県内各地からホットな話題をク  
リアなサウンドでおとどけしま  
す。  
毎週月～金曜日 AM9:30～9:35

テレビ広報

●北日本放送 毎週日曜日 AM9:30～10:00  
「こんにちは富山県です」  
10/7 富山は発明王国!?  
10/14 これからの家づくり  
10/21 いい汗さわやかいきいき人生  
10/28 芸術の秋を楽しむ～現代美術の流れ(富山)  
●富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00～9:30  
「110万人のひろば-クイズ/フォーカス-イン」

県からのホットニュース

▶10月に開局したチューリップテレビでは、毎週土曜日  
朝9:30～9:45「志の輔・陽子のふるさとトーク」  
を放送。ぜひ見てね!

TV

RADIO

NEWSAPER

編集後記

★新湊の少年茶道教室。元気いっばいの子供達の乙にすました姿。動と静のコントラストがかわいらしく、いただいたお茶も一際おいしかった。亭主とお客が互いに相手に心づかいする。日本文化の良さをしみじみと感じたひとときでした。(N)

★食品研究所で山田村の「柿酢ドリンク」を賞味させていただきました。口にゆっくり含んでみれば、さっぱりとした甘み、ほのかな香り、豊潤で爽快な感じ。バイオテクノロジーと特産物の見事な融合。現在、梨を原料としたワインを研究中とのこと。期待したいものです。(T)

★荒町証券社長の稲垣さん宅にホームステイしていた留學生の話。朝、トイレの前で立っているの、誰か入っているの?と稲垣さんが尋ねると、「戸が締まっています」と留學生。この留學生の国ではトイレを使用しない時は戸を開けておくとのこと。みなさんも自宅に居ながらにして、世界各国の文化や風習を味わえるホームステイの受け入れをしてみませんか。(M)



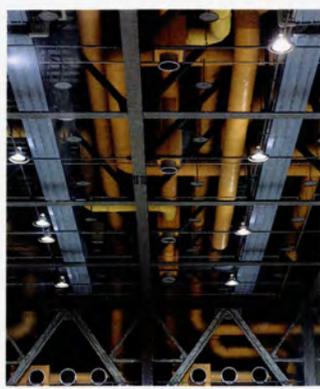
ニュー・ブルータリズムの建築

富山産業展示館(テクノホール)

設計 内井昭蔵・三四五建築研究所・押田建築設計事務所(昭和五十八年)



一九五〇年代最先端の建築デザインはブルータリズム更にはニュー・ブルータリズムと呼ばれる傾向にあった。これはコルビュジェのその頃の作品に顕著な傾向で、建築を作っている構造材料の素材の儘の表面を建築デザインの表現として用いるというやり方である。彼の場合には荒々しい打ち放しコンクリートの剥き出しの面が、建築の力強さを表現する。この傾向は日本ではことのほか好まれた。何故なら日本は昔から白木の素材の美を尊んできたからである。言ってみれば、材料表面を化粧仕上げしない、「正直・誠実な」デザインだが、綺麗な仕上げに馴れた目からは「フルータル・残酷・粗暴な」粗野なデザインに見えたのである。この傾向は更に、材料のみならず、構造物や設備配管、配線も剥き出しに顕して、それをデザインの要素として扱って行くことになる。ニュー・ブルータリズムである。そうしてこれが、八〇年代のポスト・モダン建築デザインの一つ、ハイテク・デザインへと展開して行ったのである。



この作品もそうした流れに属する作品

の一つであろう。これは種々の見本市や製品展示会、産業関連の集會等に用いられる建築なので、富山の地場産業の一つの象徴として、外装にアルミパネルを全面的に用いている。実は、アルミが建築材料、特に外装材として開発されたのは七〇年代であった。アルミ・パネルは素材表面そのものが美しく化粧仕上げの必要はなく、「ブルータリズム」のデザイン原則に忠実でありながら、緻密でシャープ、クールな感じを与えるデザインが可能である。このため「フルータル」なデザインの無機的な傾向にうんざりしていた建築家によって、アルミは八〇年代に入って多用されることとなったのである。ここでは、アルミの金属的な冷たさと鋭さ、硬さを避けるために、アルミ地色を抑え、隅角部を丸めて落ち着きと柔らぎを出している。均質材料の大量積使用によって、テクスチャが単調になりがちの壁面に、上部に並べてつけた換気のための窓とその日除庇、そのなす影でもって変化とアクセントをつけている。晴れた日の陽光の反射と影のコントラストが美しい。ハイテク・デザインの情感である。内部は、展示の為の鉄骨造の大空間で、構造的に面白い工夫が見られる。天井と壁面上部は構造が剥き出しで、設備のダクト、配管なども顕してある。これが内部空間にダイナミックな雰囲気を与えており、ニュー・ブルータリズムの表現である。

解説/笠 覚暁(工学博士富山大学教授)  
写真/風間耕司(日本写真家協会会員)

とやま心象30  
「とやま建築百選」からの

# 秋深し、 土・日<sup>◎</sup>のモーニングが面白い！

チューリップテレビがいよいよ放送開始。そこで県でも、土曜日の朝9時半から、県出身の女優野際陽子さんと落語家立川志の輔さんをキャスターに著名なゲストを招いて『志の輔・陽子のふるさとトーク』をお送りします。「県番組は固い／なんて思っている人は、×（バツ）です」なーんちゃって……。



## チューリップテレビ

「志の輔・陽子のふるさとトーク」

毎週土曜AM 9:30～9:45

毎回著名なゲストを招いてキャスターと富山の話題等について対談します。

●キャスター 野際陽子さんと立川志の輔さん



テレビ  
広報

## 富山テレビ

「110万人のひろば——クイズ/フォーカス・イン」

毎週日曜AM 9:00～9:30

クイズ形式で県の施策や県内各地域の話題を提供する県民参加型情報番組です。

●長谷川綾子・榊原泰明両アナウンサー



## 北日本放送

「こんにちは富山県です」

毎週日曜AM 9:30～10:00

レポーターが参加、体験しながら県の施策等を紹介します。

●レポーター 古川禎子さん



ラジオ  
広報

## FMとやま

「ふれあいホットライン」

毎週月～金曜AM 9:30～9:35

県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。

●アナウンサー 高山奈美子さん



新聞  
広報

## 「県からのお知らせ」

毎月第2土曜日、最終土曜日

北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日

◎みて、聞いて、ご意見をお寄せください。

富山県